

資料9 常滑市水道事業中期経営計画（7項目）

NO.	担当部署	全体の取組項目		全体の取組内容	平成20-21年度の取組計画	平成20-21年度の成果等	評価	備考 (評価が△×の場合の今後の取組等)
1	水道課	経営改革の取組	送化収 期・納 間停業 短水務 縮通の 知効 発率	市内に単身アパート等の集合住宅が増え、人の出入りも激しくなっている。今まで2期分滞納した人に発行していた停水通知を、1期分滞納後とすることにより、転出等により未納となる危険性を軽減する。	平成21年度より左記取組を実施する。	平成21年度に実施した。	○	-
2	水道課	経営改革の取組	の化収 打・納 出止停 し水務 警告の 書効 率	(H22検討、H23実施予定) 停水警告書(停水通知の前段階)はパソコンにて住所、滞納期別、額等入力して作成しているが、オンライン端末より打ち出しが可能となれば事務量の軽減となる。	平成21年度よりオンラインからの打ち出しを実施する。	電算担当の協力により、平成21年度よりオンラインからの打ち出しが可能となり、事務量の軽減ができた。	○	-
3	水道課	経営改革の取組	コンビ ニ収 納	現在金融機関で収納される年間の納付書は、納入通知書1万4千件、不能通知書3千件、催告書1千件ある。収納窓口をお客様のニーズが高いコンビニへも拡大し、サービス向上を図る。 H21以降のランニングコスト 年5,700 千円	平成21年1月よりコンビニ収納を実施する。	納付書による納付の約50%がコンビニを利用している。	○	-
4	水道課	組収 み益 確保 の取 り	シ納 ー付 ー書 ーの 化葉 書き	電算打ち出しの郵便物を順次ハガキサイズに変更すること(シーラー化)によって、封入手作業をなくし、郵送料、封筒代の節約、人件費抑制を図る。	コンビニ収納とあわせ、平成21年1月より実施する。	コンビニ収納とあわせ、平成21年2月より実施した。	○	-
5	水道課	組収 み益 確保 の取 り	却未 利用 財産 の売	(H20検討、H21実施予定) 未利用財産の洗い出しをし、使用見込みの無いものは売却を図る。	同左	市街化調整区域内の土地であり売却は難しい状況にある。	×	引き続き検討する。
6	水道課	組収 み益 確保 の取 り	場合 ポン 止常 石場 ポン ン廃	(H23検討、H24年実施予定) 配水区域の変更により、圧力をかけずに配水が可能となることや、ポンプが老朽化したことから、常石ポンプ場を廃止する。	-	施設の老朽化が激しく、予定を前倒しし、平成21年8月をもって、常石ポンプ場を廃止した。	○	-

NO.	担当部署	全体の取組項目	全体の取組内容	平成20-21年度の 取組計画	平成20-21年度の成果等	評 価	備 考 (評価が△×の場合の今後の取組等)
7	水道課	り人 組材 み育 成へ の取 理施職 者・員 の水研 育道修 成技の 術実 管	(H21実施予定) 水道技術管理者資格の取得者が高齢化 しているため、将来に備え若年者の資格 者を育成する。	平成21年度に1名水道技術管理者資格取 得講習会を受講させる。	予算化できず延期した。	×	水道技術管理者資格取得講習会 へ1名受講させる。